

日ユ協連の第28回 評議員会（2012年9月1日開催）報告

<趣旨>

日ユ協連の第28回 評議員会（2012年9月1日開催）に九州ブロック選出青年評議員として出席した件について個人の責任の下報告を行う。

<今回の主な内容>

- ・新設構成団体加盟式
- ・松田会長挨拶
- ・前回評議員会の議事要録の承認
- ・日ユ協連の事業報告（2012年6～8月）
- ・世界寺子屋運動アフガニスタン・プロジェクトについて
- ・民間ユネスコ運動の今後の発展に向けて
- ・質疑応答

※民間ユネスコ運動の今後の発展に向けての部分にて配布資料として「子どもの未来プロジェクト（仮称）」の事業概要が説明された。

プロジェクト目的としては青少年が社会に役立つ活動を行った際にこれを評価する仕組みを作り、青少年の自主性を高め成長を促すものであるとのことだった。

また、具体案としては以下のように挙げられた

1. ESDをテーマとしたボランティア活動を各地ユネスコ協会が地元の小学校～大学へ呼びかける。
2. 参加を希望する子どもたちに対して「ボランティアパスポート」を発行する。
3. ボランティア活動参加後シールをパスポートに貼る。（ラジオ体操の判子のイメージ）
4. 一定量シールを取得した児童、生徒、学生に対し各地ブロック大会や全国大会にて表彰または発表の機会を設ける。

会の最後に質疑応答の時間が設けられた。その中で挙手の上以下のように発言を行った

<佐藤発言内容>

未来プロジェクトの目的として各ボランティア活動への参加促進が挙げられているが、具体的にどのような活動を行うかということや青少年の育成方針については各協会に委ねられているようである。

現在の資料はあくまで計画案ということなので、今後練りこむ上で日本ユネスコ協会連盟全体としての育成方針を検討して欲しい。また、このままでは単純にその場の参加のみを募るものになってしまう為、リーダー育成の場など、次のステップを見据えた事業を設けることを考慮していただきたい。

<質問に対する回答>

特になし

以上

文責：大分県ユネスコ協会連盟 佐藤隆士
（九州ブロック選出評議員）